

会議結果報告書

平成28年11月11日

会議の名称	志木市公共施設等マネジメント検討委員会幹事会第3回会議
開催日時	平成28年10月11日(火) 午前10時00分～午前10時35分
開催場所	庁議室
出席委員	[幹事会メンバー] (※進行者) ※ 松永政策推進課長、豊島秘書広報課長、村山人事課長、 菊池総務課長、松井財政課長、野口市民活動推進課長、 山崎福祉課長、堀内都市計画課長、浅見建築開発課長、 渋谷上下水道総務課長、小日向教育総務課長、清水会計課長、 藤議会事務局次長、原田監査委員事務局次長 (計14人)
欠席委員	(計0人)
説明員職氏名	松田政策推進課主査 (計1人)
議題	1 開会 2 内容 (1) 再配置シミュレーションの結果について (2) その他 3 閉会
結果	1 開会 幹事長より会議の開会を告げ、議題の1から順次進める。 2 内容 (1) 再配置シミュレーションの結果について 事務局より、議題2 内容(1)を説明後、質疑応答を行った。 (事務局) シミュレーションは一定のルールに基づき、それを当てはめて

いった。ただし、シミュレーション以外でも、建物の危険度が高い等、何らかの要因が発生した場合はその都度整備が必要になる場合もある。

(幹事長)

シミュレーション結果について、部内での意見を取りまとめて政策推進課へ報告していただきたい。

(課長)

意見というのは、本日配付された資料に対する意見ということで良いか。

(幹事長)

本市は他市と比べて、公共施設そのものの量が少ない。公共施設等マネジメント戦略で掲げる目標を達成するためには、このくらい思い切った再配置も必要になってくる。例えば、ある施設について、広域利用を行うことで、廃止できるのではないかという議論もあるが、現時点でそこまでの検討はできない。あくまでも志木市だけでシミュレーションした結果であることをご理解いただきたい。

また、施設の集約・複合化の条件としては、耐用年数を特に意識している。施設の所管課からいただいている意見と、今回のシミュレーション結果が異なる施設については注意してほしい。

この後、本部会でもご意見をいただき、パブコメ等を実施したうえで、最終的には計画書として冊子にまとめる予定である。シミュレーション結果は計画書の根幹となるので、良くみていただきたい。

(課長)

最終的な計画書において、仮にどこかの施設が「建替え」となった場合、実際に建替えを行う際は、その時点で意思決定が必要になるのか。それとも、計画に基づくものとして、意思決定は不要なのか。

(事務局)

今後、公共施設等マネジメント戦略に掲げるとおり、施設の量を削減していくために、市としてどうしていくか示す必要がある。ただし、個別施設の検討をする場合は、その時点での状況等も考慮しなければならないため、その時々での意思決定は必要である。

	<p>(課長) その時々で、議論しながら進めていくということか。</p> <p>(事務局) 計画を踏まえた議論を行ったうえで、決定していくということになる。</p> <p>(2) その他について</p> <p>3 閉会 幹事長が閉会を告げる。</p>
事務局職員	田中政策推進課主査、星野政策推進課主任